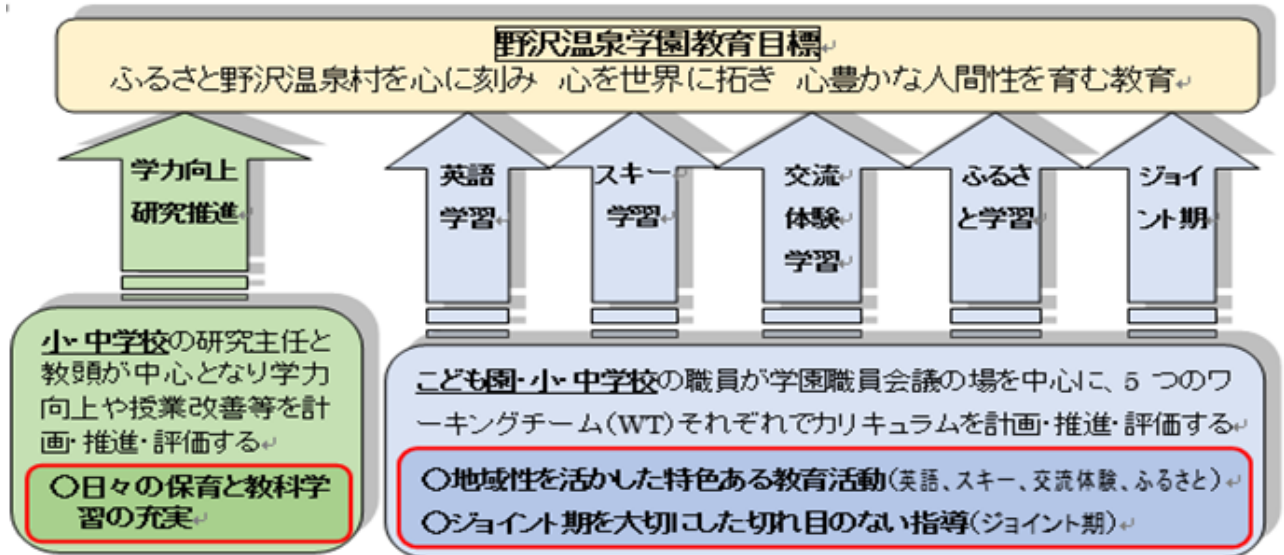





山毛櫨(ぶな)の子 野沢温泉学園だより第2号

～子どもたちが、ブナ(村木)の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～



令和4年度 野沢温泉学園 学園長・副学園長の紹介

<p>学園長</p>  <p>野沢温泉小学校長 市村 一彦</p>	<p>廊下で「元気ですか」と問かけると、今日やったこと、近頃の印象的な出来事、何の勉強を頑張っているかなどをたくさん話してくれることがあります。「へえ、そうなんだ」「今日もがんばるんだね」などと返事をします。その子の思っていることや考えを聞くと、嬉しくなります。子どもは話したいことをたくさん持っているのだと思います。幼保小中一貫教育の強みを活かし、野沢温泉学園のみんなで子どもたちを見守り、育てていきたいと思ひます。</p>
<p>副学園長</p>  <p>野沢温泉中学校長 嶋田 勝彦</p>	<p>野沢温泉学園でお世話になって3年目となります。夜は外湯をいただき、朝は八幡清水をいただきながら、野沢温泉村の大自然の恵みに感謝する毎日です。本年度は野沢温泉学園 10年目の記念すべき年です。未来を担う子どもたちのために、みんなで楽しく語りながら、学園の教育を進めてまいりましょう。保護者をはじめ地域の皆様には、大変お世話になりますが、お力添えのほど、よろしくお願ひいたします。</p>
<p>副学園長</p>  <p>のざわこども園長 岸 香理</p>	<p>戸外活動が気持ちの良い季節となりました。こども園では天気の良い日は散歩に出かけ、村内の様々な場所で散策活動を楽しんでいます。「ただいま!」と元気に帰ってくる子ども達の手には散歩先で見つけたお花など大事そうに握られています。そして今日の出来事を一生懸命話してくれます。たくさんの自然に囲まれた野沢温泉の良さを学園生活の中で感じていって欲しいです。今年度もどうぞよろしくお願ひ致します。</p>

野沢温泉学園 令和4年度が スタート。

毎年2回の学園授業研究会を開催し、授業の質の向上を目指しております。昨年度同様、今年度も東京学芸大学教職大学院准教授の渡辺貴裕先生に本学園の中心講師をお願いし、年2回（6月と11月）予定している学園授業研究会でのご指導とご講演、また夏休み期間をお願いしている職員研修会で授業づくりについてご指導をいただきます。

また、11月の授業研究会は、野沢温泉学園が会場校（園）となり、長野県の「幼年教育 教育課程研究協議会」も兼ねて行います。この研究協議会に向けて、今まで、学園として連携を深めていた「のざわこども園と野沢温泉小学校」の取り組みをさらに進めるため、教職員間のつながりを大切にしながら、子ども達と共に学んでいきます。



小学校の算数の授業を考える小中教員

学園の強みをいかし、 園・小・中の教職員が連携。 子ども達も、積極的に交流。

幼年教育の研究をきっかけに、こども園・小学校・中学校の「教職員の連携」がキーワードとなり、学園全体での取り組みが積極的です。

小学校の音楽ではリトミック（リズムに合わせて仲間と身体を動かす、音楽教育と人間教育を目指す活動）を取り入れています。4月中旬、中学校の音楽科教員が小学校を訪れ、子どもと共にリトミックの体験をしました。6月の学園授業研究会では、午後の授業で中学校2年生の音楽が公開されます。小中学校の音楽科教員がタッグを組んで、授業づくりに取り組んできました。



5月に入り、小学校では運動会の準備と練習が続きました。5月中旬、1年生では、こども園の年長さんに運動会に来てもらおうと、招待状を一人ひとりに書きました。そして、招待状を持ってこども園を訪問し、直接渡すことができました。その後、みんなで「ジンギスカン」のダンスを踊って帰ってきました。運動会では、年長さんの元気なはた拾いの姿が見られました。



5月下旬、小学校のスマイル学級の子子ども達が畑の準備を始めました。少ない人数ではちょっと大変そうです。担任が中学校のふれあい学級に相談したところ、お手伝いに来てくれました。さすが中学生です。声を掛け合いながら40分ほどですっかりできあがりました。中学生のお兄さん達に教えてもらいながら、楽しく畑の作業ができました。



文責：小学校 平田久貴